

第24回 広島湾研究集会

第4回東部瀬戸内海研究集会 合同集会

瀬戸内海における近年の資源変動とその背景

瀬戸内海は単位面積あたりの漁業生産が高い水域として知られていますが、漁獲量は全体的に低下しています。その背景として、地球温暖化に伴う海水温の上昇や瀬戸内海の貧栄養化といった環境変化の影響が考えられますが、詳細な資源変動機構の解明には至っていないのが実情です。本研究集会では、漁業生産の変化とその背景にある環境変化や低次栄養段階生態系の変化との関わりを探り、近年の変動についての認識を関係機関とともに共有することを目的とします。

日時

2026年
9月24日（木）
13:00～17:00

会場 ※ オンライン併用

広島大学生物生産学部
C201講義室

〒739-8528

東広島市鏡山 1 丁目 4 番 4 号

参加登録：

下記URLまたはQRコード
からお申込みください
（締切：9月10日）

<https://forms.office.com/r/AFykjFWXsu>



座 長：山本民次（流域圏環境再生セ）

① タチウオの生理・生態と紀伊水道における漁場環境と漁法の変遷

13:10～13:40 上田幸男（吉備国際大学農学部）

② 大阪湾における魚類群集構造の近年の変化

13:40～14:00 木村祐貴（大阪環農水研）

③ 瀬戸内海における藻場の変化と今後の可能性

14:00～14:20 島袋寛盛（水産機構技術研）

— 休 憩 — 14:20～14:40

座 長：戸井真一郎（広島総研水海技セ）

④ 藻場の衰退が魚類の生産に及ぼす影響

14:40～15:00 山本啓斗（広大院統合生命科）

⑤ 1970年代以降の播磨灘における植物プランクトン群集の長期変遷

15:00～15:20 肥後翔太（兵庫水技セ）

⑥ 瀬戸内海における環境変化の海域比較

15:20～15:40 鬼塚 剛（水産機構技術研）

— 休 憩 — 15:40～16:00

総合討論 16:00～17:00

座 長：富山 毅（広大院統合生命科），大美博昭（大阪環農水研）

本研究集会は、統合生命科学研究科セミナーとして、
プログラム共同セミナーの対象です。

主 催 （一社）水産海洋学会

共 催 広島大学大学院統合生命科学研究科，（地独）大阪府立環境農林水産総合研究所水産研究部，
（国研）水産研究・教育機構水産技術研究所，広島県立総合技術研究所水産海洋技術センター

後 援 流域圏環境再生センター

コンピーナー 富山 毅・大美博昭・鬼塚 剛・戸井真一郎・山本民次

お問合せ tomiyama@hiroshima-u.ac.jp（富山）